

来年度以降のより具体的な方針については、10月13日（14日）に神戸地本準備のもと神戸ポートピアホテルで開催する第27回定期委員会にて提起していくこととします。

② 主体的な青年女性委員会活動の展開

① 情宣活動の充実

中央本部では、新人組合員の歓迎や各級機関の新体制の紹介、各種行事の開催予定といった青年女性委員会に開く情報を機関紙「YOU'S」にて発信してきました。「YOU'S」は各地方・総支部・支部、分会の青年女性役員に見ていただくことを目指し、発行いたします。また、「YOU'S Mainline」は、行事の開催内容に加え、参加者の声や次回行事の案内など、青年女性委員会の活動が皆さんに分かりやすく、親しみを持ってもらえるように編集、発行に努めていきます。さらに、引き続きJR西労組新聞・JR西労組ニュースへの寄稿を掲載し、青年女性委員会の活動をJR西労組の組合員全員に知ってもらい、青年女性委員会活動がより身近に感じられるための取り組みを展開していきます。

② ホームページの活用

現在、JR西労組のホームページの中に、青年女性委員会の情報発信ページ「青年女性委員会から版」を設けており、最新の行事開催の案内をはじめ、「YOU'S」「YOU'S Mainline」のバックナンバーを掲載し、取り組みや各種活動についての情報提供を行っています。誰でも何時でも何処でも、情報が取得できるホームページですが、より多くの青年女性組合員にこのホームページを知ってもらうための取り組みと併せて、内容の充実を含め、興味を持ってもらえるホームページとなるように一層の充実に取り組みしていきます。

③ 中央ユースフォーラムの開催

各フォーラムは職種に特化した内容で行う「バスユースフォーラム」「医療システムユースフォーラム」、ボランティア活動と学習会が主体の「青女フォーラム」、男女がともに生き生きと働き続けられる職場を考える「男女平等漫画フォーラム」、JR西日本のローカル線について学び、考える「地方ローカル線フォーラム」を開催し、それぞれの系統・職種ごとの課題や問題点を共有化するともに、特有のテーマについて意見交換しながら「私たちの職場」「将来の社会」を考える場として開催してきました。

しかし、各行事の当初の目的から開催内容が様変わりしているものもあり、今の青年女性委員会にはどのような活動が必要なのか、議論を進めてまいりたいと考えています。

④ 「指令所組合員との意見交換会」の開催

12月を目前に、参加者アンケートの結果を踏まえて年間の開催回数、開催日、対象システムや実施方法を議論するため「検討委員会」を開催します。検討委員会からの



提言により、さらに充実した意見交換の場になるように工夫していきます。

⑤ 「中央本部主催レクリエーション」の開催

中央本部は「組合員同士の相互交流」を目的に毎年開催している「ユーススピリット」を引き続き開催します。今年度は、京都地本準備のもと9月23日（24日）に京都市内を中心に開催する予定です。多くの組合員に参加していただけるように、地域の特徴を生かした内容の充実に努めるとともに、交流がより深まるような活動となるように工夫していきます。

⑥ 継続的な社会貢献活動（ボランティア）の実施

今から始められる、誰もが身近にできる継続的な社会貢献活動（ボランティア）として引き続き、使用済み切手・プルタブ回収を行います。使用済み切手回収は活動が停滞しているよう見受けられるため、引き続き活動の目的を明確に示し、全ての組合員に参画していただけるよう情報発信に努めます。

9 教育活動の取り組み

自由にして民主的なJR西労組運動のリーダー育成については、日々の世話役活動をはじめ、様々な活動を通して役員として経験を積むことが大切ですが、階級的労働運動による国鉄崩壊＝雇用不安の反省と教訓のうえ

に、25年を迎えたJR西労組運動の歴史や、「対立」と「協力」で表されている企画提案型運動の組織運営などを、しっかりと理論立てて学ぶ、教育活動も非常に重要な取り組みであり、各級機関において、創意工夫し取り組む事とします。中央本部においては引き続き「ユニオンカレッジ」を柱に教育活動を積極的に進めます。

そのユニオンカレッジですが、基本的に骨格は、昨年度に引き続き、新任役員向けの「役員基礎」中堅役員向けの「役員実践」そして将来の専従役員育成も視野に入れた「オルガナイザー養成」の三段階の基本コースと、対象の役員育成を主眼とした「女性役員」「安全衛生委員会実践」の各コースを開催しますが、今年度は組織運動の最も大事な分会活動の活性化に向け、将来的には新任役員向け教育については、より多くの新任役員が受講可能となる地方開催とし、中央本部としては中堅役員以上の教育に特化していきたいと考えており、方向性について議論していくこととします。それと合わせて地方教育充実に向け、地本総支部書記長および教育部長を対象に「教育トレーナーコース」を開催します。なお詳細については、大会終了後の教育担当者会議で決定する事とします。

なお、各コースとも女性役員の参加実績が少ない（46名22%・女性役員コースを除く）ことから、JR連合が定める第3次男女平等参画推進計画の観点からも、女性受講生の派遣拡大の取り組みも強化します。またユニオンカレッジ修了生に対し、研修終了後1～2年経過後、研修時に作成した決意文と合わせフォロワーの送付を行っています。各地方本部において、ユニオンカレッジ修了生について、意見交換会開催等のフォロー体制構築を要請します。

このほか、今年度は人事大会の年であり、新任の専従役員就任を想定し、新任専従役員研修を開催することとします。

また「新入組合員半年後研修」「LM層役員研修」を引き続き地本・総支部主催（本部共催）で開催し、講師派遣等支援をしていくこととします。

① 中央本部主催「ユニオンカレッジ」の開催

分会三役や支部・地本役員として過去にユニオンカレッジを修了し、将来、JR西労組の中心役員として活躍し得ると地本・総支部執行委員長が推薦する方を対象に、オルグの意義と実践教育、本部・地本の専従役員との議論などを通じ、役員としてのリーダー養成にむけた研修を開催します。

② 役員実践コース（1泊2日）年1回

すでに役員を経験した方を対象に、世話役活動の重要性の認識やコミュニケーション能力向上、模擬職場集会所開催など実践的なカリキュラムを通じ、各級機関のリーダーを養成することを目的として、具体的には主に分会三役以上（地本・支部執行委員）を対象に開催しま

③ 役員基礎コース（1泊2日）年2回
初めて役員になった方を対象に、労働組合の歴史や、役員としての基礎スキル習得を目的として、具体的には主に基本組織の新任執行委員や青年女性委員会の新任役員を対象に開催します。

④ 女性役員コース（1泊2日）年1回
連合は、第4次男女平等参画推進計画（2013年10月～2020年9月）において、役員女性の比率を30%にする目標を掲げ、各構成組織で取り組んでおり、JR西労組も目標達成にむけ取り組んでいます。その一助とすべく、女性役員の育成強化と相互の交流を目的として、女性役員を対象に開催します。

⑤ 安全衛生委員会実践コース（1日）年1回
職場活動における「安全衛生委員会」の意義など、基礎知識向上と実践力向上を図ることを目的として、労働者側の安全衛生委員（3号委員）に指定された分会役員等を対象に開催します。

⑥ 教育トレーナーコース（1泊2日）年1回
地本・総支部の書記長と教育部長を対象に、地方開催の教育活動充実に向け、ユニオンスクールの企画から実践について、理論およびスキル習得をねらった研修を開催します。

② 地方本部・本社総支部主催研修について

本部と共催の「新入組合員半年後研修」「LM層役員研修」とは別に、各地方本部・総支部や各級機関主催で創意工夫した「ユニオンスクール」の開催を要請します。中央本部からは、必要に応じて教材の提供や講師の派遣を行うこととします。

③ その他

① ユニオンカレッジ事務局の派遣

各地方本部・総支部に対し、事務局としての参加も教育の一環として位置づけ、各級機関の事務局の派遣を要請します。

② 部外研修への派遣

他産別リーダーとの交流や知識習得を目的として、今年度も、引き続き富士社会教育センター主催「ユニオンリーダースクール」をはじめ、部外主催の各種研修会に、研修生を派遣します。また合わせて事務局としても派遣する事とします。

10 情宣活動の取り組み

情宣活動は、JR西労組運動の取り組み内容や、成果や課題を全組合員が共有化するために重要な役割を担うとともに、外部への情報発信としての役割も果たしています。若手組合員が大幅に増加する中で、「JR西労組運動が見えにくい」「なかなか組合の動きがわからない」といった声も聞かれることを踏まえ、本年度も引き

続き、JR西労組運動の次代への継承と浸透を図るために、機関紙や各種ニュース、ホームページ等の充実に取り組み、JR西労組運動の見える化を推進していくこととします。

具体的には、機関紙「JR西労組」の毎月2回の定期発行、「JR西労組ニュース」の随時発行、「組織ニュース」「業務ニュース」「春闘ニュース」「ダイレクトメールニュース」の随時発行、「JR西労組ホームページ」の随時更新により内外へのタイムリーな情報発信に取り組んでいくこととします。

さらに、若手組合員へより効果的に情報を伝達する手段を模索し、ホームページのリニューアル等に向けた検討を引き続き行っていきます。

① 親しみやすく魅力のある機関紙の発行

本部機関紙「JR西労組」については、基本的にはこれまでの方針を継承し、毎月2回の定期発行の取り組みを行っています。組合員や家族により親しまれる機関紙となるよう、これまで各級機関からの投稿による連載記事「ロマンは実を結ぶ」を継続してきましたが、より各地方本部・総支部の動きを反映するため、定期的に各地方本部・総支部の取り組み内容を掲載する体制を構築することとします。

また、組合員の世代交代が進む中、JR西労組の重要な取り組みである安全の確立、本部大会、総合労働協約改訂交渉、JR京都駅ビル大階段駆け上がり大会、春季生活闘争などについては、機関紙「JR西労組ニュース」において、随時内容を紹介していきます。発行の際には、労働運動の必要性も伝えることができるよう、各種集会、業務・組織の成果と課題、交渉内容などについて組合員と情報を共有できるよう、タイムリーで分かりやすい情報提供に努めます。

② 「業務ニュース」「春闘ニュース」「組織ニュース」の随時発信（省略）

③ 各級機関における機関紙の発行と機関紙コンクルの取り組み（省略）

④ ホームページの充実（省略）

⑤ ダイレクトニュースの充実と登録拡大（携帯メールによる情報伝達）（省略）

⑥ JR連合等に関する取り組み（省略）

登録者アドレス
(JR西労組組合員限定)

<http://wjru.com>

上記の登録アドレスにインターネットでアクセスし、自分のアドレス登録を行ってください。携帯電話・パソコンどちらでもOKです。
@wjru.com のメールが受け取れるように設定してください。

QRコード